

委員会審査Q&A

各委員会に付託された23議案を審査

本会議で付託された23件の議案等について、15日から17日にかけて行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会で審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

(委員) 田島 川口 木田
大長 荒関 鈴木

市職員の勤務時間、休暇等の拡充

Q. 今回の改正点は？

A. 主に育児休暇対象となる子の範囲の拡充と、新たに介護時間制度を設ける。

Q. 休暇の取得状況は？

A. 現在、育児休業取得者は9名で、介護休暇取得者はいない。

市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費の廃止

Q. 今回の改正点は？

A. 市長等の特別職及び職員の旅費に関し、内国旅行で日帰りの場合の日常を廃止等とする。

字の区域の設定 「下吉影字テクノパーク」

Q. 設定する理由は？

A. 県が進める茨城空港テクノパーク工業団地造成事業の施行に伴い、事務処理の円滑化を図るため。



茨城空港テクノパーク

財源内訳補正について

Q. 地方債のうち旧小川総合支所解

体事業債と公民館解体事業債の2件の財源内訳補正を行った理由は？

A. 市全体の事業不用額となった一般財源があったため、利子を伴う2つの解体事業債を借りずに一般財源に切り替えたため。

文教福祉

(委員) 本仲 目川 谷木村
岩谷 笹小 幡植 木

中学校建設事業工事請負費の減額補正

Q. 中学校建設事業工事請負費の減額補正の要因は？

A. 旧小川高校改修工事の建設付帯工事の一部を取り止めたことによるもの。

Q. 取り止めとなった工事とは？

A. プール及びテニスコートの改修や、弓道場の解体、渡り廊下設置工事等。

Q. それらを取り止めとした理由は？

A. プールは、小川南小学校のプールを併用し、テニスコートは、学校との協議の中で改修までの必要がないとの判断に至ったため。また、弓道場を残したのは、市政モニター等を通じて一般開放の要望があったことや、今後、武道の授業等への活用可能性を残すため。



旧小川高校改修工事の説明を聞く委員

小美玉市学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)

Q. 運営内容と目的は？

A. 15名で構成する学校運営協議会が教育活動の報告を受け、学校へ意見具申したり、教育計画の提案を行い、学校の教育活動の活性化を図る。

Q. 実施する学校は？

A. 23年度から野田小学校で実施している。さらに29年度から小川北中学校で実施する。

予防接種事業・成人保健事業

Q. 予防接種事業・成人保健事業で受診者が伸びず、減額補正されているが、受診率を上げるには？

A. 来年度からは、個人通知の強化や、子宮がん・乳がん検診の実施期間を12月末から2月末までに期間延長した。

産業建設

(委員) 田井村 槻井 島
戸石野 大藤 福

農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬

Q. 農地の集積率と遊休農地の解消の達成率により、国からの交付金が毎年変動するというのだが、委員の実績に応じてそれぞれ報酬が変わるのか？

A. 小美玉市全体の実績として考え、全委員に同じ報酬額を加算する予定。

公共下水道事業

Q. 事業費が年々減少しているが、公共下水道事業の今後の見通しは？

A. 現在、経営戦略を策定中。起債や国の補助金などを考慮すると、毎年度約5億円程度の事業費で進めていくことになる。

○ 市民の方から早期普及の要望が多くある。早期完成を目指し努力してほしい。



農業集落排水施設

■ 3月定例会の討論(1件)

● 議案12号「29年度一般会計予算」

【反対】 一般会計予算については、人事配置を含め、市民に寄り添ったとは思えない施策もあり、反対する。
(福島議員)

【賛成】 本予算案は、経常的なコストを厳しく削減する一方、大義ある政策には積極的に投資をしていくメリハリの効いた予算と評価できる。
(谷仲議員)

■ 3月定例会の議案に対する主な質疑(5件)

● 議案3号 (谷仲議員)

Q. 指定管理者の指定手続きの一部を改正する理由は？

A. 事業報告書の提出について、30日以内から60日以内に改正するなど実態に即した形へ改めるため。

● 議案9号 (小川議員)

Q. 農業委員、農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償の改正内容は？

A. 農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬にのみあてられ、農地の集積率と遊休農地解消の達成率により交付されるものであり、年額26万4000円を上限とし市長が定める額を支給するもの。

● 議案12号 (谷仲議員)

Q. 地籍調査測量委託料521万7000円の減額理由は？

A. 測量の基準となる地籍図根三角点の設置基準が、平成28年度から変更され、人工衛生システムを利用した測量に変更になったため。

● 議案12号 (福島議員)

Q. 市税収入について法人税が20%増収になった理由は？

A. 法人税の1億2700万円の増額は製造業、建設業、卸小売業、農林業が見込み額を超えたことによるもの。

● 議案13号 (福島議員)

Q. 出産育児一時金1050万5000円の減額理由は？

A. 出産育児一時金は、国民健康保険の被保険者が産科医療補償制度に加入している病院等で出産した場合に、42万円を国保特別会計から支払う保険給付制度となっている。過去3年間の出生により国保に加入した乳児数の平均により85名を見込んだが、1月末現在で乳児数は40名となっていることから3月までに60名としたことによるもの。

● 議案19号 (福島議員)

Q. 介護保険料の増額になった理由は？

A. 介護保険料の増額になった理由は、8月の本算定により当初予算編成時よりも対象者が増えたため。